

設置期間	2022年4月～2025年3月			
研究課題名	インドにおける「循環的存在論」の形成——祭祀思想から哲学への発展を中心に			
(英 文)	Evolution of the Indian Ontology in the Cyclic Image: Focusing around the Development Process from Ritualistic Thoughts to Philosophical Views			
研究目的の概要 (400字程度)	<p>紀元前一千年紀以来、インドでは「人間などの生命体が生と死を繰り返す」あるいは「世界が発生と消滅を繰り返す」といった循環的イメージに基づく存在理解の方法が発展してきた。とくにインドの「人間観」を代表するものとして、業の理論と結びついた輪廻説がとくに知られ、またインドの「世界観」を代表するものとして世界の反復的な生滅を説くユガ説が有名である。そして、これに類する存在理解の方法は、ヒンドゥー教や仏教の伝播によって、日本を含むアジアの多くの国や地域に大きな文化的・社会的影響を及ぼした。そうしたインド的思想の基礎には、存在の様態を「循環的なイメージ」で捉えようとする共通の思考がみられる。しかし従来の学界では人間観と世界観とを個別に研究することが多く、それらの相互関係を目を向けることが少なかった。本研究はこの共通的思考を「循環的存在論」と名づけてその発生・展開のプロセスを明らかにし、かつ南アジア、東アジア、および東南アジアで共有される社会的・文化的基盤について、新たな視野を開こうとするものである。</p>			
研究会開催予定等	年10回 月 13:00-17:00			
No.	班長・副班長	氏 名	区分	所属 ・ 職名
1	班長	手嶋 英貴	私立大学	龍谷大学法学部
2	副班長	岩城 卓二	所内	
3		天野 恭子	学内（法人内）	文学研究科
4		横地 優子	学内（法人内）	文学研究科
5		大木 舞	学内（法人内）	文学研究科・人文学連携研究者
6		高島 淳	国立大学	東京外国語大学
7		中村 史	国立大学	小樽商科大学商学部
8		梶原 三恵子	国立大学	東京大学大学院人文社会系研究科
9		堂山 英次郎	国立大学	大阪大学大学院人文学研究科
10		西村 直子	国立大学	東北大学大学院文学研究科
11		川村 悠人	国立大学	広島大学大学院人間社会科学研究科
12		尾園 絢一	国立大学	広島大学大学院人間社会科学研究科
13		伊澤 敦子	国立大学	東京大学文学部・非常勤講師
14		大島 智靖	国立大学	東京大学死生学・応用倫理センター
15		虫賀 幹華	国立大学	大阪大学大学院人文学研究科
16		山城 貢司	国立大学	東京大学先端科学技術研究センター
17		塚越 柚季	国立大学	東京大学大学院人文社会系研究科
18		眞鍋 智裕	国立大学	北海道大学大学院文学研究院
19		菊谷 竜太	私立大学	高野山大学文学部
20		矢野 道雄	私立大学	京都産業大学
21		井田 克征	私立大学	中央大学総合政策学部

No.	班長・副班長	氏名	区分	所属・職名
22		高橋 健二	私立大学	東洋大学文学部
23		谷口 力光	独立行政法人等公的研究機関	日本学術振興会
24		坪田さより	独立行政法人等公的研究機関	日本学術振興会
25		吉水 清孝	民間機関	財団法人東洋文庫